

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事 業 名 ぎふ食べきり運動連携事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 廃棄物対策課 資源循環推進係 電話番号：058-272-1111(内2963)

E-mail：c11225@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,538 千円 (前年度予算額： 3,176 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,176	0	0	0	0	0	2,828	0	348
要求額	5,538	0	0	0	0	0	5,469	0	69
決定額	5,538	0	0	0	0	0	5,469	0	69

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

環境への負荷軽減が図られた循環型社会の形成推進において、「3R」の推進は重要な課題のひとつであるが、取り組みには県民一人一人の意識向上が欠かせないため、家庭ごみの減量化などをわかりやすい形で啓発していく必要がある。

県では平成30年度から「ぎふ食べきり運動」として、食品関連事業者と連携して、食品ロス削減の普及啓発に取り組んでおり、令和3年度に策定された「第3次岐阜県廃棄物処理計画」では食品廃棄物対策が重点分野に位置づけられた。

同計画においては市町村をはじめ各主体との連携強化も重点分野とされており、令和3年度から「ぎふ食べきり運動」協力市町村と連携した取組を推進している。

家庭ごみ(粗大ごみを除く)の約3～4割を食品廃棄物が占めるため、家庭ごみのさらなる減量化のためには、県民に対し食品廃棄物削減、特に本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品ロス削減の効果的な啓発及び手段の提供が必要である。

(2) 事業内容

○ぎふ食べきり運動の啓発活動

「ぎふ食べきり運動」協力店・協力企業の登録を進めるとともに、県民による具体的な食品ロス削減の取組を促進できるよう、「ぎふ食べきり運動」協力店・協力企業や協力市町村と連携しインスタグラム等様々な広告媒体を活用して効果的な情報発信を行う。

○フードドライブ推進事業

家庭から出る未利用食品を有効活用するフードドライブ事業について市町村での展開が促進されるよう、市町村においてフードドライブを実施するためのマニュアルを作成するとともに、実施に用いた必要備品について市町村等が同事業を実施する際に貸し出すこととし、フードドライブの県民への浸透を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県民を対象とした普及啓発に対し、ふるさと環境保全基金を活用する。(補助率10/10)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	102	業務旅費
需用費	691	啓発物作成
役務費	224	郵送料
委託料	4,521	啓発コンテンツ制作、広告掲載
合計	5,538	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「第3次岐阜県廃棄物処理計画」(令和2年度策定)

第5章 計画の推進に向けた具体的施策

- 1 廃棄物の排出抑制・循環的利用及び適正処理の推進
- ・ 4 各主体との連携強化

「岐阜県食品ロス削減推進計画」(令和3年度策定)

V 推進施策

- 2 未利用食品等の有効活用及び適正な再生処理の推進
 - (1) フードバンク活動、フードドライブ等の支援

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

「第3次廃棄物処理計画」の中間見直しを行う令和7年末までに、県内全市町村が、「ぎふ食べきり運動」をはじめ各市町村の実態に応じた食品廃棄物発生抑制の取り組みを実施している状態にする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①ぎふ食べきり運動 協力市町村数	0	24	28	32	42	57%
①ぎふ食べきり運動 協力店・企業数	454	700	550	660	800	88%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	県民向けに、協力店の取り組み紹介や、協力店と連携した食べきりレシピ・親子クッキング動画等の家庭でも取り組める食べきり方法を発信するインスタグラムを開設。新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭で過ごす時間が増えていることもあり、子育て世代を中心に食品ロスへの関心を高めることができた。
令和 3 年度	令和3年度より協力市町村との連携を始めて、令和3年度末時点では24市町村が協力市町村として参画し、各種イベント等で「ぎふ食べきり運動」の啓発を行った。
指標① 目標： <u>42</u> 実績： <u>24</u> 達成率： <u>57</u> %	
令和6年度当初予算にて追加	
令和 4 年度	
指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>第3次岐阜県廃棄物処理計画における重点分野として位置づけられており、また「岐阜県食品ロス削減推進計画」(令和3年度策定)においても施策の柱と位置づけられている。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>本事業を契機に事業開始から令和3年度末までで24市町が協力市町村に参画しており、市町村との連携が図られていることから事業の成果が上がっている。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 1	<p>市町村と連携することで、各市町村でも「ぎふ食べきり運動」の情報発信を行っていただくことができ、県民に事業を啓発するための効率化が図られている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 協力市町村と連携し、県民に対する食品ロス削減の具体的な行動を促進することが必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 協力市町村の認知が進んでいる状況であることから、さらに参画市町村を増加させるとともに、参画市町村と連携した事業展開を進める。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	